

Summary

望遠鏡で世界を観察し、顕微鏡で祖国を掘りさげて観察しよう (翁久允「わが一生 印度旅行後」より)

翁久允(おきな・きゅういん 1888～1973)は、現在の富山県立山町出身の小説家・ジャーナリストです。1907年、19歳でアメリカへ渡り約18年を過ごしました。帰国して『週刊朝日』の編集に携わり、作家として小説や随筆を発表し、多くの文壇人と交遊しました。1931年、画家の竹久夢二とともに再び渡米、1933年にはインドに旅して詩人・タゴールを訪ねます。両国での体験は、小説『悪の日影』、評論集『宇宙人(コスモポリタン)は語る』、『今日の印度』などに記されています。1936年、富山で郷土文化誌『高志人(こしびと)』を創刊、生涯を通じて刊行を続けました。

本展では、約9,000点の翁久允旧蔵資料を中心に、明治末から大正期にアメリカに暮らし、インドを歩き、移民社会の実態と文明の相克を目の当たりにした経験をもとに、世界的な視野をもって郷土の歴史と文化を知ることの重要性を伝え続け、共有する場をつくり、多くの人とともに歩み続けた翁久允の事績を紹介します。

あわせて、翁久允の著作をもとに新作された室井滋と長谷川義史による絵本『キューちゃんの日記』(北日本新聞社刊)の原画を展示します。翁久允の魅力が詰まった展示をぜひお楽しみください。

Profile

翁久允 Kyuin OKINA 作家、ジャーナリスト、郷土史研究家、宗教家、画家

明治21年(1888)2月8日、上新川郡東谷村(現中新川郡立山町)の漢方医の家に生まれる。幼名は允(のぶ)。

明治35年(1902)、富山県立富山中学校(現富山高等学校)に入学したが、少年らの悪戯により放校。明治40年(1907)、単身渡米して、働きながら邦字新聞に多くの小説や随筆を発表した。大正12年(1923)、短編小説集『移植樹』を出版し、移民地文芸の先駆けとなった。帰国後、朝日新聞社に入り、評論集『宇宙人(コスモポリタン)は語る』や小説『道なき道』『アメリカ・ルンペン』など数多くの作品を発表。また、多くの文壇人と交流した。昭和8年(1933)、インド巡礼に出て、タゴールを訪ね、評論集『今日の印度』『印度仏跡を観る』などを刊行。昭和11年(1936)、郷土研究誌『高志人(こしびと)』を創刊した。三尊道運動を興して、心の平和を呼びかけ、また、曼荼羅画帖を描いて得た基金で高志奨学財団を設立した。

昭和48年(1973)2月14日死去、富山市内に久允の旧宅の三尊道舎が残り、富山市立図書館に旧蔵書を収めた翁久允文庫がある。

Outline

展覧会名	没後50年 コスモポリタン 翁久允 OKINA Kyuin 脱日本人! 展
会 期	令和5年(2023)12月16日(土)～令和6年(2024)3月4日(月)
会 場	高志の国文学館 〒930-0095 富山県富山市舟橋南町2-22
開館時間	9:30～18:00(観覧受付は17:30まで)
休 館 日	毎週火曜日、12月29日(金)～1月3日(水)、2月26日(月)
観 覧 料	一般400円(320円)、大学生200円(160円)、前売り・一般320円 ※()内は20人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。 ※児童・生徒(小・中学生、高校生など)、各種障害者手帳をお持ちの方は無料。
主 催	高志の国文学館
共 催	北日本新聞社、北日本放送
特別協力	須田満
展覧会担当	高志の国文学館 事業課 係長 小林 加代子(こばやし かよこ)

Theme

I わが一生

翁久允の自伝「わが一生」にもとづいてその事績を紹介するとともに、各時期に出会った人物 20 名との関わりを各人物の原稿、書簡とともに展示します。また、翁久允の言葉を短文で配して、翁久允の思想を伝えます。

人物：翁源指、山田昌作、中川幸子、清沢洌、野口米次郎、早川雪洲、浅原六朗、大泉黒石、小寺菊子、郷倉千靱、竹久夢二、安孫子久太郎、タゴール、柳田國男、片口江東、高島高、川田順、逸見久美、源氏鶏太、佐伯彰一

II 絵本原画展示

翁久允の著作をもとに新作された室井滋と長谷川義史による絵本『キューちゃんの日記』（北日本新聞社刊）の原画を展示します。

Topics

1 文学を超越した活動を紹介

翁久允旧蔵資料約 9,000 点の中から、原稿、書簡、日記類、写真、絵画など約 250 点を展示し、コスモポリットな高志人・翁久允の事績と交遊を紹介します。

2 独自の美をもつ絵画

アメリカやインドでのスケッチ、『高志人』の表紙画や、仏画、曼荼羅画帖など、翁久允の画業を紹介します。

3 映像で翁久允を紹介

約 5 分の映像を制作して、会期中上映します。

4 翁久允の著作をもとに新作した絵本の原画を展示

室井滋と長谷川義史が翁久允の著作をもとに作り上げた絵本『キューちゃんの日記』の原画展示を通して、子どもたちに翁久允を伝えます。

5 図録を刊行

翁久允の著作と、アメリカ時代、朝日新聞時代、『高志人』を主宰するなかで知遇を得た人びとから寄せられた書簡や原稿を掲載する図録を刊行します。

総ページ：80 ページ、A4 判 価格：未定

6 子どもも大人も楽しめるイベント

講演会や、高校生参加イベント、子どもたちも楽しめる朗読会などを計画しています。

Events

(1) プレイベント 書道パフォーマンス

[テーマ] 翁久允の作品
 [出演] 県立富山高等学校書道部
 [日時] 12月9日(土) 13:30～
 [会場] 当館 エントランスゾーン
 ◎申込不要 ◎観覧無料

(2) 特別上映会&制作担当者によるトーク

[作品] 翁久允のこぼ(仮) ※KNB 2023年11月26日(日)放送 25分
 [トーク] 松本芽久美(北日本放送メディア本部報道局デスク)
 [日時] 12月16日(土) 11:00～11:45
 [会場] 当館 ライブラリーコーナー
 ◎申込不要 ◎参加無料 ◎定員 70名

(3) 記念対談 翁久允のアメリカ・インド・富山

[講師] 須田満(公益財団法人翁久允財団代表理事)
 水野真理子(富山大学学術研究部准教授)
 [日時] 12月16日(土) 14:00～15:30
 [会場] 当館 研修室101
 ◎申込不要 ◎参加無料 ◎定員 100名

(4) 室井滋・作、長谷川義史・絵 絵本『キューちゃんの日記』トーク&朗読会

[出演] 館長 室井滋、長谷川義史
 [日時] 12月24日(日) 14:00～16:30
 [会場] 当館 ライブラリーコーナー
 ◎申込必要 ◎参加無料 ◎定員 150名

(5) 高校生が読む翁久允の英文小説「In the Kingdom of God」

[出演] 県立富山高等学校 ESS 部
 [コーディネーター] 水野真理子(富山大学学術研究部准教授)
 [日時] 1月28日(日) 14:00～15:30
 [会場] 当館 研修室101
 ◎申込不要 ◎参加無料 ◎定員 100名

(6) 展示担当者によるギャラリートーク(展示解説)

[日時] ①1月27日(土) ②2月10日(土) ③2月24日(土)
 各回 14:00～(約30分)
 [会場] 当館 企画展示室
 ◎要観覧券 ◎申込不要

■申込方法

電話・FAXにてイベント名と氏名、電話番号を高志の国文学館までお知らせください。
 ※定員に達し次第、募集を終了します。
 ※FAXでのお申込みで、定員に達している場合のみ当館からご連絡いたします。

Highlight

■主な展示品

I 「わが一生」

- 0 「わが一生」—『高志人』と『翁久允全集』全10巻
翁久允について
作品：「わが一生」及び『高志人』、『翁久允全集』の紹介
主な展示品：『高志人』、『翁久允全集』
- 1 「親不孝者になる」—六郎谷から富山、東京、そしてアメリカへ
人物：翁源指、山田昌作、中川幸子
作品：「わが一生 生いたちの記」
主な展示品：日記、通信録、書簡、当時を回想した記事や原稿
- 2 「ジャップの群の中」—シアトルからカリフォルニアへ
人物：清沢冽、野口米次郎、(早川雪洲)
作品：小説「悪の日影」、短編小説集『移植樹』、「わが一生 海のかなた」、
「わが一生 金色の園」
主な展示品：日記、スクラップ帖、写真、書簡、書籍、当時を回想した記事や原稿
- 3 「不思議な半日本人、半外人」—東京朝日新聞社時代
人物：浅原六朗、大泉黒石、小寺菊子、郷倉千靱
作品：『宇宙人（コスモポリタン）は語る』、『道なき道』、『アメリカ・ルンペン』
主な展示品：書簡、写真、書籍等、当時を回想した記事や原稿
- 4 「惚れてみたが故に」—竹久夢二とアメリカへ
人物：竹久夢二、(安孫子久太郎)
作品：「わが一生 帰国篇」、「再外遊篇」、「夢二と渡米の動機」、「淋しい夢二の死」他
主な展示品：原稿、秩父丸・龍田丸ディナーメニュー、書簡、スケッチブック、写真
- 5 「そのままがいいのだ」—インドで仏跡を巡り、タゴールを訪ねる
人物：ラビンドラナート・タゴール
作品：『今日の印度』、『印度仏跡を観る』、『戯曲 釈迦如来』
主な展示品：タゴール自筆色紙（借用）、日記、書簡、スケッチブック、写真等
- 6 「望遠鏡で世界を観察し、顕微鏡で祖国を掘りさげて観察しよう」—『高志人』創刊
人物：柳田國男、片口江東、高島高、川田順
作品：『高志人』、『高志』、「再外遊篇」
主な展示品：『高志人』、『高志』、原稿、書簡、写真、日記、書画等
- 7 「脱日本人」—『高志人』と三尊道舎
人物：逸見久美、源氏鶏太、(佐伯彰一)
作品：『高志人』、『新観音経講話』、『廓然無聖』
主な展示品：『高志人』、原稿、書簡、写真、日記、書画等

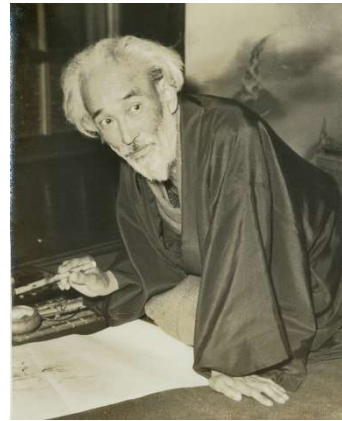
II 絵本原画展示

など 資料総数 約 250 点

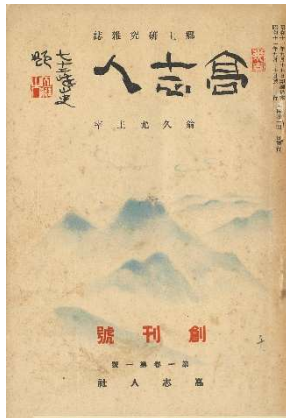
Images



1 展覧会チラシ



2 仏画を描く翁久允



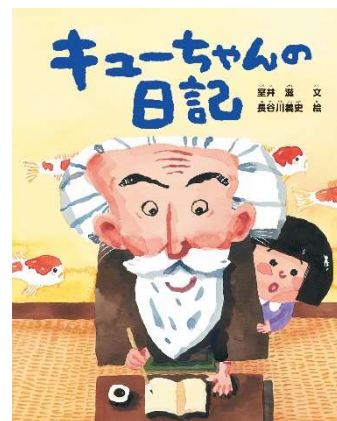
3 『高志人』創刊号(1936年9月)
郷倉千靱表紙画



4 翁久允画 曼荼羅画帖
「越中萬葉遺跡」大伴家持を描く



5 翁久允画 釈尊像
早川雪洲賛「LOVE is ALMIGHTY」



6 『キューちゃんの日記』
室井滋 文・長谷川義史 絵
(北日本新聞社) 書影

「没後 50 年 コスモポリタン 翁久允 OKINA Kyuin 脱日本人！ 展」
 広報用画像貸出申請書

高志の国文学館事業課 広報担当 行
 FAX 076-431-5490
 E-mail akoshinokuni@pref.toyama.lg.jp

展覧会広報用の画像を貸出しております。ご希望の際は、下記の貸出条件をご確認のうえ、本書に必要事項をご記入いただき、FAX または E-mail にてお申込ください。E-mail の添付にて JPEG データで画像をお送りいたします。

【広報用画像貸出条件】

- ◎画像は展覧会紹介の目的のみにてご使用ください。
- ◎画像に文字を重ねるレイアウトはお控えください。
- ◎画像データは、ご使用後かならず破棄してください。
- ◎画像データを第三者に渡すことを禁じます。
- ◎インターネット上へ掲載する際には、画像をコピーできないよう処置してください。

御社名 : _____

御担当者名 : _____

E-mail アドレス : _____

電話 : _____ FAX : _____

掲載誌名・番組名・Web サイト名 : _____

発行・放映・掲載予定日 : _____

申込画像（ご希望の画像をチェックしてください。）

- 画像 1 展覧会チラシ
- 画像 2 仏画を描く翁久允
- 画像 3 『高志人』創刊号（1936年9月）郷倉千靱表紙画
- 画像 4 翁久允画 曼荼羅画帖「越中萬葉遺跡」大伴家持を描く
- 画像 5 翁久允画 釈尊像 早川雪洲賛「LOVE is ALMIGHTY」
- 画像 6 『キューちゃんの日記』室井滋 文・長谷川義史 絵（北日本新聞社）書影